

スターマイน์・アナリスト・アワード ジャパン2019

日本におけるランキングの評価方法

スターマイน์・アナリスト・アワード・フロム・リフィニティブは、リフィニティブの StarMine (スターマイน์) 独自の評価基準に基づいています。これは、投資判断による収益率および業績予想の正確さをベースにしてアナリストのパフォーマンスを客観的に評価します。2019 年度のアワードは、日本株銘柄を対象とした「投資判断実績」と「業績予想実績」に基づいています。

投資判断アワードは、2018年7月より今年6月末までの12カ月間の成績、業績予想アワードは直近会計年度ベース (2019年3月期の業績予想) をそれぞれ基にしています。

使用データについて

アナリスト・ランキングは、リフィニティブI/B/E/Sの業績予想データと投資判断データ、および GICS (Global Industry Classification System) の業種分類を採用したスターマイน์の評価基準に基づいています。GICSの業種分類が細かすぎるなどの理由により、ランキングが困難な場合は、日本のアナリストのカバレッジ構成と出来る限り一致するよう複数の業種を組み合わせています。例えば本ランキングのヘルスケア業種はGICSのHealth Care Equipment & Supplies、Health Care Providers & Services、BiotechnologyおよびPharmaceuticalsを組み合わせましたものです。

I. 投資判断アワード

I-①(投資判断・業種別)

<各業種、上位3名をランキングで評価>

アナリストの収益率はすべて、業種毎のベンチマークと相対的に比較して決定されます。ベンチマークとは、当該業種の全銘柄を時価総額で加重平均したポートフォリオです。それに続いて各アナリストの推奨内容に基づいたポートフォリオを作成します。

このポートフォリオでは、「買い(Buy)」推奨の場合に該当銘柄を1株ロングすると同時にベンチマークを1株ショートにします。収益率がベンチマークを上回るたびにクレジットが加算されます。「強気買い(Strong Buy)」推奨の場合には投資効果を高めるために1株ロング、ベンチマークを2株ショートにする算定となります。「保留(Hold)」の場合はベンチマークを1株買います(つまり超過収益は『ゼロ』)。「売り(Sell)」推奨の場合には反対にベンチマークを1株ロングにし、該当銘柄を1株ショートにします。「強気売り(Strong Sell)」の場合はその効果を高めるため、ベンチマークを2株ロング、該当銘柄を1株ショートにします。

上記を採用した結果のポートフォリオは、およびアナリストがフォローする銘柄のカバレッジに変更が生じた場合や、投資判断が変更された際に再調整されます。

(受賞対象となるための要件)

- (1) アワードに選出されるには、一年を通じて、5銘柄以上をカバーすること(15銘柄未満の業種の場合は、当該業種構成銘柄の1/3以上)が要件となっています。
- (2) アナリストは、当該業種において正の超過収益率を上げる必要があります。
- (3) アナリストは、対象期間の75%にわたり少なくとも5銘柄を推奨する必要があります。
- (4) アナリストが投資判断アワードに選ばれるためには、カバレッジ相対評価(Coverage-Relative Rating)に基づき、全体(カバーした銘柄の全ての業種)において3つ星以上の実績を上げることが要件です。
- (5) アナリストがカバーする銘柄のうち全体の50%、または5銘柄が国内銘柄であるのが要件です。

I-②(投資判断・総合)

投資判断総合アワードの選出にあたっては、1年を通じて5銘柄以上をカバーするのが要件です。アナリストの総合超過収益率は、各業種の超過収益率を加重平均して算出し、上位10名を選出します。ここでは各業種においてカバーする銘柄数を考慮します。

(受賞対象となるための要件)

- (1) アナリストは1年の少なくとも75%にわたり少なくとも5銘柄をカバーする必要があります。
- (2) 投資判断アワード(総合)を受賞するには、カバレッジ相対評価で、対象銘柄(対象となる全業種)において5つ星以上の実績を上げることが要件です。
- (3) アナリストは、当該業種において正の超過収益率を上げる必要があります。
- (4) アナリストがカバーする銘柄のうち全体の50%、または5銘柄であるのが要件です。

II. 業績予想アワード

測定基準であるSingle-stock Estimate Score (SES)は、各アナリストの業績予想の正確度を測定できます。SESは相対的な正確度を測定するため、アナリストは他のピア・グループと比較されません。SES値は、0から100までの範囲で、50が平均的となります。50以上のスコアを取得するには、他のアナリストとは著しく異なる予想のほか、より正確な予想の両方を満たす必要があります。SESは多くの要素を考慮の対象とします。例としてはアナリストの絶対的な予想の誤り、他のアナリストと比較した場合の当該アナリストの予想の誤り、分散状況から見た当該アナリストの予想の誤り、アナリストが行った予想のタイミング、個別企業が発表した実績収益値との比較が挙げられます。SESは毎日計算され、各銘柄、業種(業種別予想スコア)、アナリスト全般(総合予想スコア)のスコアが集計されます。(このスコア/点数がランキングのベースとなります。)

II-①(業績予想・業種別)

＜各業種それぞれ上位3位のアナリストを表彰＞

本アワードに選出されるには、年間を通して、5銘柄以上をカバーすること(15銘柄未満の業種の場合は、当該業種構成銘柄の1/3以上が要件となります。対象期間の60%にわたり少なくとも5銘柄を40%カバーする必要があります。

II-②(業績予想総合)

対象アナリストを予想スコアに基づいてランク付けし、高得点トップ10名を選出しています。本アワードのトップ10に選出されるには、前年の間に5銘柄以上の業績予想の提示が要件となります。対象期間の60%にわたり少なくとも5銘柄を40%カバーする必要があります。

III. 証券会社アワード

証券会社アワードは、投資判断部門および業績予想部門で表彰されたアナリストの合計人数が多い証券会社のうち上位3社を表彰します。

(2019年8月)